

常安小学校の本年度学校努力点とその推進計画

1 研究テーマ

みんなで学ぼう・伝え合おう
～人との関わりを通して～

2 研究テーマについて

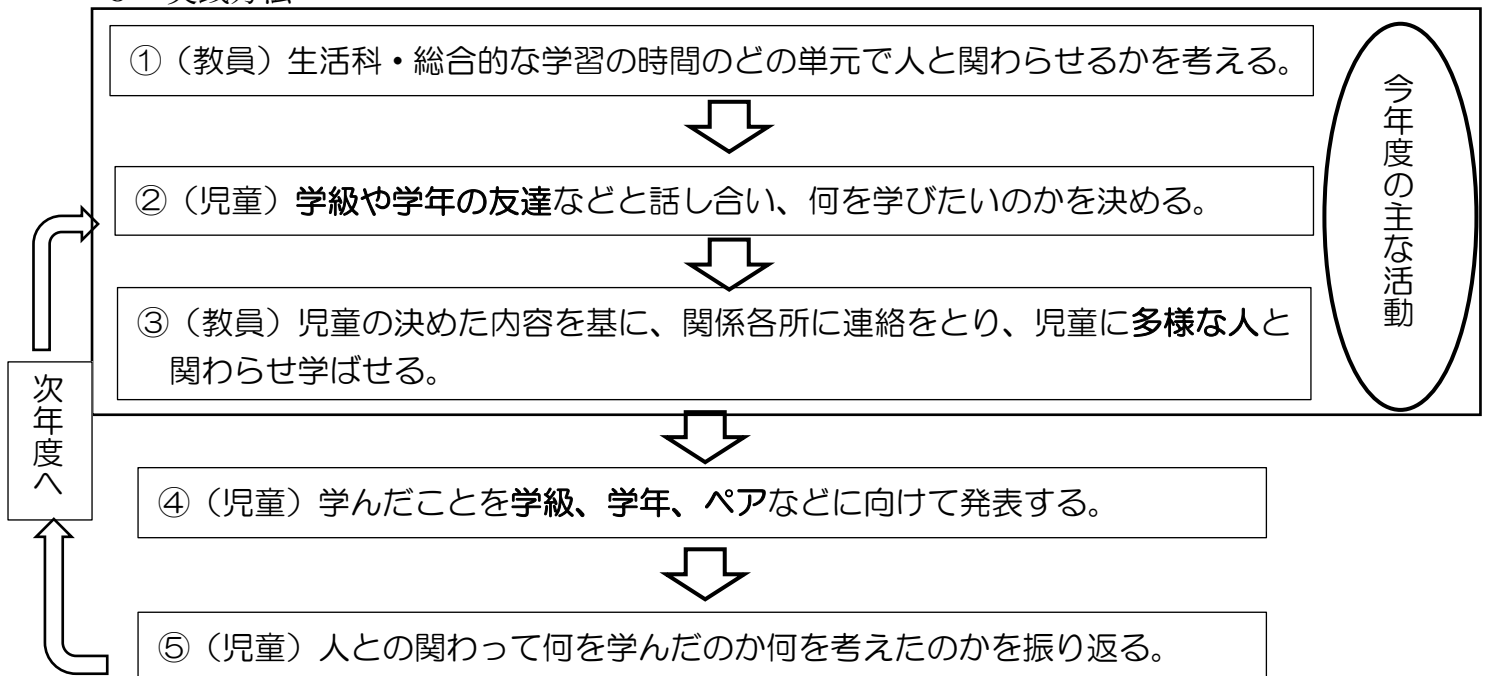
急激な変化や混沌とした社会情勢の中で、学校教育には、児童が自分のよさや可能性を認識し、他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら、自ら豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の作り手となるよう、主体的・対話的で深い学びによって、必要な資質・能力を育成していくことが求められている。

名古屋市では、「ナゴヤ学びのコンパス」を掲げ、「子ども中心の学び」の実現に向けた取組が進められている。それは、子どもたちが必要に応じて、仲間や大人の力を借りたり、人に自分の力を貸したりする「ゆるやかな協働性」を大切にしつつ、自律して学び続けるというものである。そして、「自分のペースや方法で学ぶ」「多様な人と学び合う」「夢中で探究する」の三つを重視したい学びの姿だとしている。

その中の「多様な人と学び合う」を実現するためには、まず学級の仲間と安心して学び合う「ゆるやかな協働性」のもと、様々な人と協働的に学習に取り組む時間や場の設定をする必要がある。また、学び合う人を学級から学年、ペア学年、学校全体、地域へと広げ、段階的に多様な人と学び合っていくような取組が必要となる。

そこで、今年度は、昨年度まで取り組んできた「人との関わり方」の力を基にして、生活科・総合的な学習の時間に、多様な人と学び合い、地域素材を生かした常安小ならではの単元を創造することを通し、実践に取り組んでいきたいと考えた。

3 実践方法



4 研究の組織

校長・・・教頭・・・教務主任・・・努力点推進委員会・・・各学年部会（各学級担任）
（各学年から1名）